

## 活動報告

団体名	フレンドシップ
活動名	住民主体のコミュニティづくりへ スッキリ笑顔になるメンタルサポート活動
活動期間	2018年40月～2019年1月
活動の成果	<p>避難所時期からコミュニティー支援及びメンタルケア活動に取り組んできました。</p> <p>その中でたくさんの感謝の言葉を頂いたのも、行政や地域・家族には言い難い話も私達が聞かせてもらうことも多く、私たちが想像していた以上にコミュニティー及びメンタルケアが重要であり、中長期にわたるサポートを続けることが出来たからだと感じています。</p> <p>共に楽しむこと・自然な流れを大切にすることで、住民の気持ちの寄り添うことが出来、サロンに参加し続けるリピーターにつながったと感じる。またサロン活動だけに留まらず、親子の料理教室・子どもの居場所・学習支援・子どもお泊り会・聴き方教室などに発展したのも、住民のニーズを聞いたからであり、どんな話も責めずに聴く傾聴のスタイルを喜んで頂いた。</p> <p>熊本復興支援に関わりながら、夏には西日本豪雨支援（倉敷市真備町）にも関わり、熊本の仮設住民から預かった、タオル・毛布・物資等を届けることも出来ました。熊本の被災した住民の方は、これまで支援され続けていた側から支援する側に関わられたことで、『やっとお返しができる』と言われていた方も多く、みなさんの優しい笑顔に成果を感じました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>熊本地震復興支援に関わったこの2年半。赤い羽根共同募金を通じてご支援いただき、ありがとうございました。</p> <p>中長期に渡り、コミュニティー支援及びメンタルケアを続けてこれたのも、皆様のご支援のおかげです。</p> <p>熊本地震復興支援の経験を活かしながら、西日本豪雨の被災地区・倉敷市真備町で支援活動を進めています。</p> <p>災害の状況は全く異なりますが、熊本地震復興支援で出逢った NPO 法人やボランティアさんとのご縁で、現在の活動が出来ています。</p> <p>たくさんのお逢いを支えていただき、本当にありがとうございました。</p> <p>これからも支援者に必要なコミュニティー支援・メンタルケア活動を進めていきます。</p> <p>引き続き温かいご支援を、どうぞ宜しくお願いいたします。</p>

(活動のようす)





